

# かさおか

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311



教祖120年祭を目指し、  
道の後継者の育成を念頭に邁進しよう。

# 道の後継者練成会開催

## 約百名 有意義に練り合う

講習会を開催するに当たり、対象者が若い世代という点で、学生担当も兼ねている私如き者に企画が任されて正直困りました。集合時間と解散時間がある程度決められ、先生とそのお話内容も決った中でプログラムを作り、受講者に「また受講したい」と思ってもらえる内容にするのが今回の課題でした。

プログラムは学生担当の吉岡委員長と色々練った結果、学生担当で使う「HARP」と呼ばれる手法を取り入れたもので、大教会で行われる講習会では今回が初めての試みでした。不安な所は多々あったわけで、練り合いを担当して下された会長様方は相当気を遣われただろうと推察します。ありがとうございました。

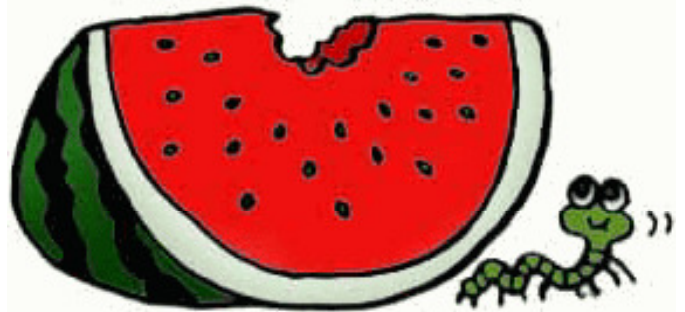
開催後色々な方の感想を聞くと、満席後は教話は聞いても教理のお話を聞くチャンスが少なかった。そ

いった意味でも今回の講話の「元の理」、「十全の守護」などを詳しく聞きたかった。とか同じ世代の人たちの考えや思いが聞きたかった。など前向きな考えの方が多かったようで、今までこういう企画が無かったのが残念に思えました。

今回の失敗点は広報と時間的なことにつきると思う。時間があればお話ももっと詳しく聞けて解り良かったであろうし、練り合いもゆっくり出来、色々な意見交換が出来たであろう。そして講習会があることを知らなかった人や、教会長子弟が少なかつた点と思うと、きちんと連絡が流れていなかったのではないかと思われる。

今回、内容はともかくこのような行事があったことは好評だったので、次回は今回の反省点をふまえて、長期的な計画(シリーズ化、対象者別等)で行事を企画し進めていけばよいと思いました。最後に参加者の皆様、関係の諸先生方ご協力ありがとうございました。

(布教部長 三 阪 泰 人)



### 我が家のめわんじ……

高見島分教会 瀬良 恵

いつも委員長後継者講習会などで同年代の方と話す機会がありますが、だいたい十人前後で、メンバーも同じ顔ぶれになります。今回の道の後継者練成会では神殿いっぱい、あまりお会いした事のない方も多く、同世代の方がこんなに居られたのかと驚きました。

練成会では班に分けられ、ほとんど話した事がない方と違った立場での意見が聞けて、貴重な一日でした。

幾度となく講習を受ける度に、滅入っていた気持ちが上向きになったり、今悩んでいる事への糸口がつかめたりするのですが、しばらくするとまた元のもくあみで、今回も、進歩のない自分を情けないと感じつつ受講させて頂きました。そこでいきなり、今回のテーマは「どんな時でも幸せの席に座る考え方をしよう」ということで、最も私の苦手とするところを指摘されたようでした。

平野先生がわかりやすく、元の理のお話からたすけの理話について、いくつか例をあげてお話し下さいました。

元の理の話を、現実的なイメージしか出来ない私には、謎だらけでなかなか悟るまでに到らないのですが、平野先生のお話の冒頭に、「はだして本当に神様を信じているのか、元の理の話を信じるところが大切」という事を言われ、内心ドキッとしまし

た。元の理の話がきちんと理解出来ないから、人にも話が出来ないんだと痛感しました。

お話の中で、めざるが一匹残ったというのは教祖の「じい、滅せざる」なぎの役で、どの家庭にも居なければならぬとお聞かせ頂き、世間の不況の波も例外でなく押し寄せる我が家で、

『もつここれまでと思えても』

その中を通して「そ天の理」といってお言葉を胸に、めざるになれるよう努力したいと思っております。



## 『道の後継者講習会』に参加して

米府分教会 下島 千文

六月三十日に、笠岡大教会で開催された『道の後継者講習会』に参加しました。笠岡につながる道の後継者の男女約百名弱の方々が参加されたそうで、これは今まで滅多に無い機会だったそうです。私自身、今回はどのような内容の会なのか、最初は不安半分での参加でしたが、とても充実した時間を過ごせたように思います。

午前中はまず「ウォーミング・アップ」として、自己紹介を兼ねての簡単なレクレーション。緊張がほぐれたところで、平野鉄之助先生による約九十分の講話。

「元の理」「十全の守護」など難しい話にもかかわらず、途中、話の聞き方のタイプなどの身近な例

を交えながら、わかりやすく紹介いただきました。

食事の時間をはさんで、午後からは講話を振り返って話題や天理教に関するQ&Aに関する練りあり。このとき配布された資料の中で、「今後、何か変化がおこりそうですか？」の設問がありました。私は、「おこりそう」と答えました。

私自身、普段の生活の中で、同年代の人とお道に関する意見を交わす機会がなかなかありません。そんな中で今回の講習会は、道の後継者である私たちに「何かが変わっていく。変えていかなければならない」と感じるきっかけづくりが目的の一つではないかと、感じたのです。

今後、私たちの世代は道の用木として自ら歩いていくとともに、次代の後継者である子供たちに、お道の大切さを伝えていくことが必要になります。そのときに、子供たちにどのように「コミュニケーション」を取り、伝えていくのか。そして子供たちだけでなく社会に伝えていくのか。今後、もっとも時間があれば、このような話題に関する意見交換もできるのでは、と思っております。第一回、三回と会を重ねられることに、笠岡につながる

道の後継者が男女を問わず、活発な話し合いと自己研鑽が出来る場となることを楽しみにしております。



## 縦の伝道講習会を

終えて

少年会笠岡団では、去る六月二十一日少年会本部より杉本重樹委員(高安部属)をお迎えして、大教会月次祭の祭典講話として「縦の伝道講習会」を開催させて頂きました。

道の後継者育成をお急ぎ込み頂くこの旬に一人でも多くの方々に、おぢばの声を直接聞いて頂き、更なる勇みを頂くと声を掛けさせて頂く中に、受講者三百七十一名(内、教会長百三名)が受講させて頂きました。

まず、『ビデオ』「わかぎが輝くとき」を上映し、続いて杉本先生より少年会の活動方針をお示し頂きました。特にわかぎの育成が急務である事を重点に、少年ひのきしん隊を通して子供達の心の成長の変化に、世話取りをさせて頂きながら感激をさせて頂いたとお話し下さいました。最後に、子供に信仰の喜びを伝えさせて頂く私達自身の心が、日々を喜びの心で通らせて頂いているのだろうか。そして如何に親神様・教祖の思いに添わせて歩ませて頂いているのかをしっかりと思索させて頂き、信念と熱意をもって縦の伝道につとめて頂きたいと締めくくられました。

午前から大教会長様と回の委員全員が、杉本先生を囲んでなごやかにねらいをさせて頂きました。

例年同様、今年も会場を野外(客殿庭園)に移し、親しく先生の話しをお聞かせ頂く中に、わが笠岡団では、教会おとまり会を全教会で実施させて頂く事が出来るよう声を掛けさせて頂き、わかぎ育成にしっかりとつとめ、今年の活動の柱でもあります。道の後継者育成に、更に励ませて頂く決意をさせて頂きました。

(笠岡団副団長 北川 治 史)

## 笠岡分会総会に向けての ひのきしん隊入隊

この度、六月一日～二十四日まで青年会ひのきしん隊に笠岡分会より十一名入隊させて頂きました。一月より田中委員長より佐藤委員長へと交替となり初めてのひのきしん隊でもあり、九月一日に開催される笠岡分会青年会総会に向けて、一人でも多く入隊を求めました。

新委員会発足にあたり、五月に自転車団参をさせて頂いたのですが、この自転車団参の目的は、委員の心を一つに揃える為と、もう一つは、全分会布教推進週間の初日に総会をさせて頂きたく、青年会本部へ総会の願書を提出する為でした。

本来なら本部の行事の期間に総会を開催することなど無理であると聞いていたのですが、願書持参で心を一つに自転車団参をさせて頂き、結果、どうで

もこうでもという押しでの願いを青年会本部に承諾して頂き、何とも言えない喜び、又、これからの方向性を打ち出して頂きました。

この度のひのきしん隊は、二十名の心定めをしていきましたが、入隊二日前の時点で五名という現実の中、残り数少ない時間でしたが声を掛け合い、何とか十一名の御守護を頂き、おちばへ向けて出発させて頂きました。

人数的にはまだ納得いかないものですが、一カ月皆が心を揃えひのきしんに励み、無事に十一名が揃って解隊させて頂くことができ、親神様、教祖に喜んで頂けたと思います。

これから九月一日の総会

までには、ごどもおちばがえりや各行事等有り、時間も限られ、青年会のことばかり考えられない現状ですが、この総会には、委員一同だけでは何もできないものです。笠岡につなげる委員一同が心をつなぐで頂くこと、総会が開催されるものです。

どうぞ他人ごとではなく、この総会を意義あるものにし、あらかとりりょうの本分である「布教と求道」でこの後の全分会布教推進週間に臨み、共に成人させて頂きましょ。

(笠岡分会委員 浅野 明 教)

## 多目的広場の活用

笠岡大教会 中村 義太郎

大教会神殿南側、回廊の窓から下を望むと、巨大な白岩に松樹が滑らかな曲線を描き、上へと伸びている。四方を建築物で囲まれた空間に緑が飛び込んでくる。毎度の食事時には、今から思えば、好

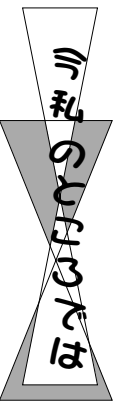
ましいこの庭園を望める方向から食堂へと向かっていったような気がする。こと、雨天時に至っては、その様相で味わい方も違って来る。例えば、霧雨、時

雨、台風、霽、夕立に、小雪等々。感覚とは不思議なもので、雨の降り方で、その趣に気が付いた訳でな

く、枝葉が雨に濡れ行く状を見て、それぞれの自分の抱く雨を感じ取った

様に思いつき、楽しみとなった。ただ悪点を言えば、実に人の侵入を拒む贅沢な空間であった。

青年としてつとめだして、二・三年経った頃、中庭をどの様に活用するか発想は自由、具体的に図面にして考えよ、と言われ、青年同士、無い知恵を絞って考えては見たものこれという案はでなかった。これに先んじて、何方でも利用して頂ける空間、憩い



の場として談話室をまず先に建て、提供された。

記念祭当日、神殿に入り切れなかつた大勢の方々がこの日の為に、前もって中庭を撤去し、新たに特設会場として設けられた場所で参拝され、雨天にもかかわらず、弁当をひるげ、今日の日を存分に楽しんでおられた様子が今も目に浮かぶ。

今また新たに中庭に於いて、多目的広場の活用に向け、連日、大工のきしんに精を出す音が響いている。見事に出来上がった木製の長椅子や、テーブルを眺めると、記念祭を機に、長年に渡り心を砕き、着手して来られた親心溢れる思いが、形として出来上がるようにしている。この親心に対し、楽しまない策はない。

# 計 報

藤本まこと姉

惠陽分教会四代会長

六月二十日出直されました。

享年 七十六才

## ・原・稿・募・集・

### 内 容

\*小随筆 ミニエッセイ(心に思い浮かぶままに書いた感想文)で、信仰的な内容であれば傾向は問いません。

- 例
- ・教会長などの立場の上から、自分のなすべきこととして日頃思うこと
  - ・一般のボランティア活動などに参加して思うこと
  - ・世上での出来事を通して、お道は何をなすべきか
  - ・組織としての自教会の運営の上で工夫をしていること
  - ・教理研究の上から思うこと など

\*「今私のところでは」

他の教会・布教所と違う独自の活動などをご紹介ください

- 例
- ・我が教会の名物
  - ・祭典日直会のオリジナルメニュー など

\*俳句・和歌・川柳(傾向は問いません)

\*教会行事開催後の報告記事 等々

### 字 数

1000字前後(800字~1200字)。  
題名・所属教会名・氏名を明記してください。  
俳句等は1首からでも結構です。

### 寄 稿 先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿ください。

郵便 : 〒714-0066 笠岡市用之江377

FAX : 0865-66-1314

電子メール : [kasaokazaki@rio.odn.ne.jp](mailto:kasaokazaki@rio.odn.ne.jp)

なお、原稿はお返しいたしませんので、予めご了承ください。

笠岡大教会人事

会長室

室長

武内清、岡崎真一、今川昌彦、  
企画運営担当 武内清、  
事情運び担当 上原澄雄、  
田中一之、  
上原繁道、  
吉岡誠一郎、  
岡本久善、  
上原繁道、  
吉岡誠一郎、  
佐藤道孝、  
吉岡誠一郎、  
中村邦義、  
河原節喜、

常 誌

部長

武内清、田中一之、門脇誠教、岡本久善、浅野和芳、岡崎輝夫、中村邦義、  
岡本久善、浅野和芳、岡崎輝夫、中村邦義、  
森本忠平、谷内伸白、西江昌直、田林志計實、  
杉原博之、中村義太郎、赤木由枝、田中島隆之、岡崎輝彦、  
福村道徳、岡田尾正治、  
開地俊夫、室喜久子、

会 計

部長

武内清、今川昌彦、北川勇、  
上原繁道、岡崎真一、今川昌彦、  
山野弘実、  
枝廣隆文、

庶 務

部長

佐藤道孝、中村剛、谷内伸白、岡崎和夫、西江昌直、杉原博之、  
中村義太郎、  
藤井昭子、  
内海安子、  
渡邊真次、  
高田弘之、  
武内清明、

海 外

部長

田中一之、上原繁道、上原真雄、中村義太郎、上原順子、山野弘実、  
吉岡貞彦、  
津森朋之、  
香取雅人、  
上原繁道、  
岡崎和夫、  
西江昌直、  
門脇元教、  
浅野明教、

史 料

部長

中村邦義、岡崎和夫、森本忠平、中村義太郎、横山逸郎、高山森雄、  
桑田則昭、  
渡邊孝信、  
虫明立生、  
赤木素志、  
岡崎和夫、  
森本忠平、  
中村義太郎、  
横山逸郎、  
高山森雄、  
桑田則昭、  
渡邊孝信、  
虫明立生、

管 理

部長

危険物取扱責任者

中村邦義

電気管理責任者

桑田則昭

高山森雄

桑田則昭

渡邊孝信

虫明立生

笠岡学生担当委員会		少年会笠岡団				青年会笠岡分会			婦人会笠岡支部		教養掛	かさおか編集掛	輸送掛	詰所部																				
委員長	委員	部長	顧問	相談役	鼓笛顧問	部長	副部長	常任委員	委員長	副委員長	委員	支部長	常任委員	主任	副主任	主任	部長	次長																
武内清和	門脇誠一郎	吉岡誠一郎	森本重吉	岡本久善	高田一弘	藤野明教	浅野輝彦	岡崎輝彦	平盛秀年	上原きよ	横山逸郎	中島誠治	中村行善	平盛尚樹	瀬良昇志	森本孝志	佐藤真孝	田中まさみ	門脇加津	上原きよ	門脇誠教	上原澄雄	藤井宣人	高木昭祥	岡崎真一	河原節喜	岡本久善	岡本久善	門脇誠教	上原澄雄				
森本忠善	山野弘実	大森敏正	山本忠平	猪本啓一	谷本光司	小池宏一	田中隆之	北内伸史	高島伸雄	下野誠輝	浅野明教	中村幸子	今川好美	猪原啓介	小西陽司	今川好美	虫明好美	岡本久善	岡本誠治	中村義太郎	藤井宣人	武内清和	上原浩	上原珠世	三代温生	枝廣隆文	吉岡輝昭	西村彦一	佐藤憲美	森本忠善	上原浩	上原珠世		
瀬田友昭	桑田則昭	田中一矩	福田善彦	吉岡孝志	森本昌平	佐藤昌平	藤井正仁	武内正美	藤本晴司	高橋徳行	今川昌彦	谷内秀自	中村真造	渡邊泰造	杉原善朗	高田一弘	中村満子	岡崎豊子	武内正美	山野あや子	上原順子	中村満子	岡崎豊子	武内正美	高田賀代子	内海安子	中村満子	岡崎豊子	武内正美	山野あや子	上原順子	中村満子	岡崎豊子	武内正美
本多正悟	三阪泰人	高木昭祥	高田弘之	藤本心善	山原善朗	掛谷宣和	猪原啓文	余村健	藤本心善	高橋徳行	今川昌彦	谷内秀自	中村真造	渡邊泰造	杉原善朗	高田一弘	中村満子	岡崎豊子	武内正美	佐藤憲美	時宗一実	森本忠善	上原浩	上原珠世	吉岡誠一郎	森本忠善	吉岡輝昭	西村彦一	佐藤憲美	森本忠善	上原浩	上原珠世	吉岡誠一郎	森本忠善
仙田公男	藤本芳久	香取雅人	上原志郎	浅野明教	藤本心善	山原善朗	掛谷宣和	猪原啓文	余村健	藤本心善	高橋徳行	今川昌彦	谷内秀自	中村真造	杉原善朗	高田一弘	中村満子	岡崎豊子	武内正美	山野あや子	上原順子	中村満子	岡崎豊子	武内正美	高田賀代子	内海安子	中村満子	岡崎豊子	武内正美	山野あや子	上原順子	中村満子	岡崎豊子	武内正美

(立教百六十五年六月二十九日発令)

- ・ 教会長、教人、よふぼく、信者育成に関すること
- ・ 各種講習会（修養科生・検定講習生・任命講習生の修了講習を含む）、大会、研修会、対外ひのきしん、路傍公園に関すること
- ・ 本部、詰所関係のひのきしんに関すること
- ・ 文書並びにその他国内布教に関すること

#### ◎海外部

- ・ 海外伝道に関すること
- ・ 海外布教所、よふぼく信者の育成に関すること
- ・ 海外巡教に関すること
- ・ 日本在留の外国人布教伝道に関すること
- ・ 外国人参拝者の世話取りに関すること
- ・ 文書並びにその他海外伝道に関すること

#### ◎史料部

- ・ 史料の蒐集、保管、編纂、提示、展観に関すること
- ・ 本部史料集成部との連絡に関すること

#### ◎管理部

- ・ 建造物、施設及び備品の管理営繕に関すること
- ・ 清掃衛生に関すること
- ・ 大教会ひのきしんに関すること
- ・ 墓地に関すること
- ・ 教旗掲揚、献灯に関すること
- ・ 車両の管理に関すること

#### ◎詰所部

- ・ 詰所管理運営に関すること
- ・ 信者宿泊に関すること
- ・ 修養科、講習の手続き並びに別席、をびや、おまもりに関すること
- ・ 部内教会事情願書の取次に関すること
- ・ おぢば在住の教人、よふぼく信者、学生生徒育成監督に関すること

#### ◎輸送掛

- ・ 信者輸送に関すること

#### ◎かさおか編集掛

- ・ かさおか編集、配布に関すること

#### ◎教養掛

- ・ 修養科生及び検定講習生の教養並びに生活指導に関すること
- ・ 修養科の入学前講習会に関すること
- ・ 教養掛員会議運営に関すること

- ・ 婦人会
- ・ 青年会
- ・ 少年会
- ・ 学生担当委員会



## 笠岡大教会機構と分掌

(立教165年6月29日)

### ◎会長室

- ・本部よりの巡教参拝の受入に関する事
- ・企画運営に関する事
- ・事情お運びの世話取りに関する事
- ・巡教及び日程に関する事
- ・部属教会の鎮座に関する事
- ・諸会議の招集、運営に関する事
- ・会長に関する諸祭の祭文祭詞作成に関する事
- ・会長に関する文書の整理、保管に関する事
- ・その他会長補佐に関する事
- ・会長宅並びに客殿に関する事

### ◎常誌

- ・理事、各部長、各掛長、各主任、各会責任者で構成する
- ・大教会諸行事の推進に関する事
- ・会長室提案案件の審議及び具体化に関する事

### ◎神事部

- ・おつとめ、祭儀に関する事
- ・神殿奉仕に関する事
- ・神実様、御供に関する事
- ・別席、をびや、おまもりに関する事
- ・霊爾に関する事
- ・大教会及び部属教会の冠婚葬祭、年祭に関する事
- ・お供物品の取扱いに関する事
- ・日報作成の事

### ◎会計部

- ・会計並びにお供物品に関する事
- ・食堂及び賄に関する事
- ・つなぎ袋に関する事

### ◎庶務部

- ・教会事情の諸願書に関する事
- ・布教所設置その他布教所の諸願書に関する事
- ・個人事情願(修養科、講習、登録、扶育等の諸願書)に関する事
- ・諸統計に関する事
- ・渉外事務に関する事
- ・他の部、掛に属さない往復文書に関する事
- ・受、発信簿作成の事
- ・調査、名簿管理に関する事

### ◎布教部

- ・教義の宣布、布教昂揚に関する事
- ・部属教会育成に関する事

# 教会別人づくり一覧表 (立教165年1月1日より 立教165年6月30日まで)

名称		初	授	修	講前	講後	名称		初	授	修	講前	講後	名称		初	授	修	講前	講後	
笠	岡山	8	4	1			福	中						亀	田	1	1				
福	山	19	1		2		富	土	1					出	雲						
高	屋		2				福	東	1	1				天	場						
神	邊			1			福	山						簸	ノ						
島	根	5					福	南						多	古	1					
久	松	2					福	順	1					瑞	北						
鶴	山						福	節						雲	東	1					
弥	山	1					福	備						神	村						
陽	備	2					福	輝				1		呉	中						
摩	耶			1			坪	生	1					大	江						
金	浦		1				八	尋		1				品	橋			1			
興	明	1	1				深	安						久	治				1		
ひ	と						笠	尋	1					久	福						
陶	山						芦	品	2					呉	津						
芳	井		1				安	那	2	1	2			鶴	福						
呉	照	1					田	川	1					川	南						
海	岡	1		1			三	郡	2					島	眞						
東	悠						芦	常	1		1			川	郷	1	1				
吸	江	1					芦	辺	1					鴨	方						
照	陽	1					芦	茂	2					作	備	1					
輝	濃	1					加	陽	7	1	1			輝	華						
新	邑	1					地	實	2					錦	原						
些	市	1					香	野	1					行	膝						
明	下	1					真	華	1					眞	府	1					
上	市	1					仲	金	1	3				吉	舍	1					
府	城	1					稻	條	3					清	獄	1					
東	部						稻	倉	3	1				上	島						
服	中	1					稻	瀨	1					小	和						
島	家						稻	土	1					津	須	1					
油	木	1		1			稻	讚	1					國	野						
葦	陽						門	港			3			上	備						
湯	原	1					大	山						上	佐						
備	中						東	島						上	邊	1					
神	昭	1	1				高	島						河	井						
美	郷						出	雲						上	父						
錦	備	1					瑞	川						甲	行						
廣	町	2					海	洋						上	戸	1					
福	廣	2	1				錦	府	1					阿	面						
福	芦	1	2	1			米	濱						宇	鮮	1					
福	滿						弓	伯						河	庄						
福	岩	1					西	美						府	原	3					
福	村						米	仙						府	世						
西	年	1					伯	雲						神	驛						
福	野						照	伯						神	免						
引	昭	1		1			輝	都						合	沼						
福	春						松	島						合	計	111	29	16	6	1	

## 六月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様の子供かわいい一条の親心溢れる天然自然の御恵みを頂いて日々は結構に恙なくお連れ頂いております 特に今は梅雨の季節とて主食である稲作に必要な水の御守護を下さっております事は誠に有難い事と喜ばせて頂いております しかしながら所によっては雨が降らなかつたり集中豪雨によって被害が出るなど思いもよらず天災に遭いますのも人々が親心に甘え当たり前に流されて御守護の有り難さを忘れてる事に対して「かみなりもぢしんをふかぜ水つきもこれわ月日のざねんりいふく」との親心の現れと思案し少しでも被害が出ないようにする為にも親心と御守護の有り難さをわかって貰うべく御恩報じを念頭に日々たすけ一条の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は六月の月次祭を執り行う定めの日柄でございますので只今からおつとめ奉仕者一同今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達と思いを一つにし明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりを勤めさせて頂きます 皆の勇み心を御覧頂きまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて教祖百二十年祭に向け道の後継者育成を合言葉に丹精の歩みをさせて頂く中「声は肥やで」とのお言葉から先ず声掛けから始めさせて頂いておりますが本日はより一層拍車をかける為に「縦の伝道講習会」を開催させて頂きます お聞かせ頂く事をしっかりと心に治めて夏の子供おちば帰りに一人でも多くの子供に参加して貰えるよう声掛けさせて頂いております 又今月三十日には道の後継者練成会を開催し道の後継者としての自覚を促すと共によふぼくとしての実動が出来るよう丹精させて頂く所存でございます そしてこれらの行事に対して声掛けするなりひのきしんをする等全てのよふぼくが何らかの関わりを持つ事によって一丸となって丹精の歩みを進めさせて頂く覚悟でございます 更には今年の上半年の終わりに当たり半年の歩みを振り返ると共に年頭の心定めに思いを致し心新たに心定め完遂に向け勇躍歩み出させて頂く所存でございます

何卒親神様には皆の一つ心をお受け取り下さいまして願う心の誠の理に尚もの自由の御守護を賜りましてお望み下さる陽気づくめの世の状に一日も早くお導き下さいますよう一同と共に慎んでお願い申し上げます

## ENGLISH SEMINAR

- ◇期間 8月5日(月)午前10時受付～7日(水)午後2時頃解散。
- ◇受講対象 中学1年生以上、高校生、大学生、一般。
- ◇受講御供 2,500円。
- ◇持参品 英和・和英辞典、筆記具、着替え、洗面具。
- ◇プログラム ★パソコンを使った英語の学習 ★英会話 ★おつとめ  
★レクチャー ★ひのきしん
- ◇お問合せ 詳細はスタッフの 香取雅人 ☎(086-528-0850)  
吉岡誠一郎 ☎(086-282-0550)  
(★連絡下さればJR大門駅まで送迎します)

## 少年会笠岡団 夏季錬成会

(ハマーキャンプ)

<b>と き</b>	8月22日(木)～8月24日(土)
<b>と ころ</b>	鳥取県大山鏡ヶ成キャンプ場
<b>内 容</b>	ハイキング、キャンプファイヤー、野外ゲーム他
<b>対 象</b>	小学校3年生～中学校3年生
<b>定 員</b>	50名
<b>参加御供</b>	3,000円(米2合と野菜1品)
<b>申込〆切</b>	8月18日までに、各ブロック委員に申し込んで下さい。

## 青年会笠岡分会総会

**今、我々は道の信仰者として何をなすべまか。モノやカネにあふれた暮らしの中で徐々に失われつつある人間らしさ。今こそ真に信仰を求め、勇み立とうてはありませんか!!**

開催日時	9月1日(日) 9:30 受付 / 10:00 おつとめまなび 12:00 式典 / 13:00 昼食 / 14:00 講話 14:30 神名流し、パンフレット配布 / 15:30 解散予定
参加対象	青年会員
携 行 品	おつとめ着、にをいがけのできる服装

## 全分会布教推進週間 9月1日(日)～ 8日(日)

### 提唱70周年 全教一斉 にをいがけデー 立教165年

**主 旨** 今年の にをいがけデーは、提唱70周年の節目を迎え、全戸配布(4,000万軒)に向けて、教会(布教所)は、にをいがけのできるよふぼくをどれだけ多く育てられるか、教区・支部(組・班)は、どれだけ多くの家庭にリーフレットを配布できるか、が目標です。  
教会長が先頭に立って、よふぼく・信者・各会が一手一つに、全戸配布の大きな渦を巻き起こすべく勇んでつとめさせて頂きましょう。

**期 日** 9月 1日～30日 笠岡大教会布教強調月間  
9月28日・29日・30日 一斉活動日

**内 容** 戸別訪問、リーフレット・チラシを配布

**報 告** 参加者数を支部へ報告、教会で参加者名簿の作成を

## 第 7 3 7 期 修 養 科 募 集 要 項

**\* 修養科期間**

立教165年9月1日～11月27日

**\* 教 養 掛**

3ヶ月間	門 脇 元 教	(大教会役員・島根分教会長)
1ヶ月目	香 取 雅 人	(川島郷分教会長)
2ヶ月目	三 宅 俊 正	(作 備 分教会長)
3ヶ月目	藤 井 宣 人	(福 東 分教会長)

**\* 募集要項**

- ・ 志願者は、9月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・ 8月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・ 3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、11月29日の昼食後に解散。

**\* 教 科 書 (必須)**

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』、『よふぼく手帳』。

**\* 参 考 書 (出来れば持参)**

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

**\* 携 行 品**

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

**\* 服 装**

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
「別 席 願」	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席 札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・ 願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		・ おさづけの理拝戴願の順序参拝も合せて行なう。
本 部 御供		○	・ 「別席の誓いの言葉」は別席の誓いの日までに覚えること。
「おさづけの理拝戴願」	○	○	・ 「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者のみ。
「おはなし」	○		・ 願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		
本 部 御供		○	
「修養科入学願」		○	・ 御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学事由書」		○	
修養科入学御供	○		
「住民票」または「戸籍抄本」		○	・ 「戸籍記載事項証明書」、「身分証明書」でもよい。

# こかん様に続く会

**日時** 平成14年9月22日(日) 午後4時半 受付  
 ~23日(月) 午後2時 閉会

**場所** 笠岡大教会

**内容** 支部長様お話、にをいがけ、ひのきしん、会食

**対象** 中学3年生~高校3年生

**参加御供** 500円

## 表紙の写真

### 福島大介さん

- ・福満分教会長。
- ・本年上半期、上下分教会の田中珠美さんが、絵とカットで華やかに盛り上げてくださいました。田中さんありがとうございました。
- ・下半期は、田中さんに替わり、福島さん秋蔵の写真集から拝借。微妙な色合いを表現できないのが、残念ですが、実物を見たい方は、浦崎へGo!



我が新任会長は、日頃の教会のつとめは、自信ないのだから、この祭典(W杯サッカー)に限っては、見違える程、生き生きとして、熱心に、前会長、婦人会委員長、の分からない事柄の質問に応じ、相手に興味を持たし、普段有していないテレビのチャンネル主導権を確保し、テレビ参拝に成功した様でした。

どんな質疑応答であったか、馬鹿馬鹿しいが、お教え

しましょう。

◆サッカーは、どんな競技？

つとめ人十一人ずつの二組が、ほこり払い人(ゴールキーパー)以外は腕や手使わずに、八つのほこりのほこり玉(ボール)を蹴り、また頭でうって、一定時間内に相手方のほこり箱(ゴール)に数多く入れ合い得点を争う競技。てをどりならぬ足をどりで、両手両腕身上者の難儀を体験し、かしもの・かりものの理を悟らせる一種のかぐらつとめとも言っ？

◆「オフサイド」って、何い？

簡単に、ほこり玉をほこり箱に入れさせては、教訓とならぬ故、攻撃側がパスする時は、パスを受ける攻撃側のつとめ人は、守備側に二人以上のつとめ人がいることを確認して、パスを受けに行かねばならないルール。

◆カメルーン、セネガルは、どこにあるの？

埃をかぶった世界地図を出し、会長も詳しく知らないのを確認した。滅多に見ないので、ソ連邦や東西ドイツが載っていた。会長曰く、「南北朝鮮が統一されたら新しい地図を購入しよう。」何時のことやら？

◆奇技なヘヤースタイル!

サッカーのつとめ人は、運動が激しく、かぐら面が着けられないので、面の替わりに独自の髪型を面とすることが許されている。ベッカムヘア、モヒカン刈り、大五郎カットなど、これからもさらに奇技な面がでるよ。

以上たわいもないことを申し上げましたが、教祖百二十年祭には、W杯サッカーの様に、若い青年さんが大勢参拝頂ける様、にほいがけ、おたすけに、一層励まねばと、申しております。